石原　萌彩（いしはら めい）　清水小　1 年生

作品名：「こころをしあわせにする」

図　書：てるちゃんのかお

なぜ、この本をえらんだかというと、てるちゃんのかおのふくらみのことをしりたいと思ったからです。

てるちゃんのかおに、赤いこぶができました。小学校入学の日には、男のこたちがてるちゃんのわるＤをいいました。いじめです。かなしいきもちでいっぱいになったてるちゃんは、新しい学校にかようことになりました。四ねん生になって、てるちゃんはおかあさんにすすめられたバイオリンやスイミングにかよいはじめました。スイミングなんて十キロもおよげるようになったのです。

私がてるちゃんはすごいなぁと思ったことは、かおのことでつらいことがあってもがんばってならいごとをしていたことです。私だったら、さきのことばかりかんがえてしまって、ふあんでできないと思うからです。

私は小さいころからアトピーで、みんながじぶんのほうをみているきがしてこわい思いをしていました。ようちえんのときびょういんにいったら、体中ほうたいをグルグルまきにされました。みんなが、ようふくからはみでたほうたいをみて、

「どうしたの?」

って、いっぱいきいてくるのもいやでした。早くアトピーをなおしたくて、なんどもびょういんにいきました。びょういんはいつもこんでいて、五じかんかかる日もありました。そんなときおとうさんとおかあさんは、

「ぜったいになおるから、いっしょにがんばろうね。」

と、おうえんしてくれます。おとうさんとおかあさんが私をまもってくれているのが、とてもうれしかったのをおぼえています。だから、今もがんばってちりょうしています。

この本をよんで、おしえてもらったことが二つあります。一つ目は、てるちゃんがかおのことでこころをいっぱいにしなかったように、わたしもアトピーのことでこころをいっぱいにしたくないということです。すきなことをもっと思いっきりやってみようと思います。そうすれば、こころがげんきになって、アトピーもなおるきがします。二つ目は、人にはみんな「こせい」があるということです。みんなの「こせい」をみんなで大じにしていけば、今できがつかなかったいいところをみつけられると思います。まい日がもっとたのしくなるはずです。こころもうれしくなって、しあわせでいっぱいになると思います。もしこんど、アトピーのことをきかれたら、

「私のこせいだよ。」

と、おしえてあげようと思います。